

2017年4月28日

日本生命保険相互会社

## ニッセイ インターネットアンケート

### ～「母の日」等に関する意識調査～

日本生命保険相互会社(社長:筒井義信)は、「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューのひとつとして、ホームページ(<http://www.nissay.co.jp>)内の「ご契約者さま専用サービス」にて、「母の日」「女性活躍推進」「結婚」に関するアンケート調査を実施いたしました。

#### 《調査概要》

- 調査期間：2017年3月1日(水)～3月15日(水)
- 実施方法：インターネット(PC・携帯電話モバイルサイト)による回答
- 調査対象：「ずっともっとサービス」のサンクスマイルメニューアンケートへの訪問者
- 回答者数：8,129名(男性:4,183名、女性:3,946名)

<年代別回答者数>

[名、%]

年代							合計
	～20代	30代	40代	50代	60代	70代～	
男性	254	652	1,241	1,248	626	162	4,183
女性	300	741	1,132	1,077	524	172	3,946
合計	554	1,393	2,373	2,325	1,150	334	8,129
占率	6.8	17.1	29.2	28.6	14.1	4.1	100.0

#### 《調査結果のポイント》

##### 母の日

###### ポイント①

質問 1～6

- 母の日に「プレゼントを贈る」と回答した方は約76%で、4人に3人はプレゼントを「贈る」と回答
- 贈られる方が期待しているプレゼントの平均予算は約4,450円となり、贈る方のプレゼントの予算に比べて1,000円以上安い結果となった
- 母親にしたい著名人のトップは吉永小百合さん。次いで八千草薫さん

##### 女性活躍推進

###### ポイント②

質問 7～9

- 70%以上の方が、「女性活躍推進」が重要と回答
- 女性が活躍するために必要な要素は、「両立支援など働きやすい職場環境の整備」が最も多い回答。昨年より大きく増加したのは、「上司・管理職の意識改革(女性活躍への理解・関心等)」、「出産退社後の再就職先支援」となった

##### 結婚

###### ポイント③

質問 10～12

- 独身の女性の5人に1人は「結婚したくない」と回答
- 「結婚したい」理由で、女性は約26%が「経済的に安定したい」と回答したのに対し、「結婚したくない」理由で、男性は約28%が「経済的な不安」と回答

質問1 「母の日」にプレゼントを贈りますか？（回答者数：5,832名）

○プレゼントを「贈る」と回答した方の割合は76.2%と、4人に3人はプレゼントを「贈る」と回答  
 ○都道府県別では、山梨県が88.5%で1位。次いで岡山県（86.5%）となった

■「贈る・贈らない」回答割合

		贈らない	贈る
母の日	2017年	23.8%	76.2%
	2016年	28.4%	71.6%
(ご参考) 父の日	2016年	51.1%	48.9%

+4.6ポイント  
27.3ポイント

■都道府県別 「贈る」占率上位5県

順位	都道府県	占率
1	山梨県	88.5%
2	岡山県	86.5%
3	愛媛県	84.8%
4	大分県	84.6%
5	沖縄県	83.8%

質問2 [贈る方への質問] プレゼントは何を贈る予定ですか？（回答者数：4,399名）

質問3 [贈られる方への質問] プレゼントは何がほしいですか？（回答者数：1,680名）

○贈る方・贈られる方ともにトップは、「生花・カーネーション」  
 ○「手紙・メール・絵」は、贈る人は少ないが、贈られたいと感じる人は多い結果となった

■ [贈る方] 何を贈る予定ですか？

順位	贈るもの	占率
1位	生花・カーネーション	37.9%
2位	食事・グルメ	23.3%
3位	衣類	8.5%
4位	小物・アクセサリ	8.4%
5位	現金・金券	7.1%
9位	手紙・メール・絵	0.9%

■ [贈られる方] 何がほしいですか？

順位	ほしいもの	占率
1位	生花・カーネーション	25.5%
2位	食事・グルメ	22.6%
3位	手紙・メール・絵	14.2%
4位	小物・アクセサリ	10.5%
5位	現金・金券	5.4%
7位	衣類	3.8%

質問4 [贈る方への質問] プレゼントの予算はいくらですか？（回答者数：4,313名）

質問5 [贈られる方への質問] プレゼントの予算はいくらが望ましいですか？（回答者数：1,210名）

○贈る方のプレゼント予算は、「3,000円～5,000円未満」がトップ。贈られる方が期待しているプレゼント予算は「3,000円未満」がトップ  
 ○贈られる方が期待している平均予算は約4,450円と、贈る方のプレゼント予算に比べ1,000円以上安い結果となった

■ [贈る方] 予算はいくらですか？

順位	予算	占率
1位	3,000円～5,000円未満	39.8%
2位	3,000円未満	29.4%
3位	5,000円～10,000円未満	21.0%

■ [贈られる方] 望ましい金額はいくらですか？

順位	望ましい金額	占率
1位	3,000円未満	34.3%
2位	金額にこだわらない	27.7%
3位	3,000円～5,000円未満	21.1%

平均予算：約5,500円

1,000円以上の差

平均予算：約4,450円

質問6 母親にしたい著名人は誰ですか？（回答者数：7,791名）

○母親にしたい著名人のトップは吉永小百合さん。次いで八千草薫さん

■全年代の回答

順位	氏名	得票数
1位	吉永小百合さん	410票
2位	八千草薫さん	272票
3位	黒木瞳さん	124票
4位	天海祐希さん	82票
5位	森光子さん	75票
6位	樹木希林さん	71票
7位	小池百合子さん	69票
8位	山口百恵さん	58票
9位	竹下景子さん	56票
10位	松嶋菜々子さん	52票

■年代別

<20代以下>

順位	氏名	得票数
1位	天海祐希さん	15票
2位	松嶋菜々子さん	14票
3位	黒木瞳さん	11票
4位	山口百恵さん	7票
5位	小池百合子さん	6票

<50代>

順位	氏名	得票数
1位	吉永小百合さん	146票
2位	八千草薫さん	138票
3位	森光子さん	30票
4位	黒木瞳さん	25票
4位	草笛光子さん	25票

<30代>

順位	氏名	得票数
1位	吉永小百合さん	39票
2位	黒木瞳さん	35票
3位	天海祐希さん	25票
4位	松嶋菜々子さん	17票
5位	北斗晶さん	16票

<60代>

順位	氏名	得票数
1位	八千草薫さん	67票
2位	吉永小百合さん	61票
3位	森光子さん	26票
4位	草笛光子さん	14票
5位	黒柳徹子さん	13票

<40代>

順位	氏名	得票数
1位	吉永小百合さん	145票
2位	黒木瞳さん	47票
2位	八千草薫さん	47票
4位	樹木希林さん	29票
5位	天海祐希さん	28票

<70代以上>

順位	氏名	得票数
1位	吉永小百合さん	14票
2位	八千草薫さん	9票
3位	佐藤愛子さん	6票
4位	小池百合子さん	4票
5位	黒柳徹子さん	3票

<ニッセイ基礎研究所 久我尚子 主任研究員のコメント>



母の日にプレゼントを贈ると回答した割合が昨年より約5%上昇した背景には、労働者の賃金がやや増えていることと、今夏のボーナスも期待できることがあるのかもしれません。厚生労働省「毎月勤労統計調査」によると、昨年の秋以降、労働者の賃金指数はやや上昇傾向にあります。また、同調査から予測された今夏のボーナス支給水準は16年ぶりの高水準となっています。

また、贈る方と贈られる方の金額差を見ると、贈る方が約千円高くなっています。これは、贈る方が予定しているプレゼントと贈られる方が欲しいものの違いがあるのでしょう。贈る方の上位にはお金をかけるプレゼントが並びますが、贈られる方の上位には手紙や絵など、お金よりも真心をこめたものがあがっています。また、そもそも、プレゼントの内容よりも、子ども達が母の日を考えてくれることが嬉しい、というお母さん達の気持ちのあらわれなのかもしれません。

質問7 日本経済の発展に「女性の活躍推進」は重要だと思いますか？（回答者数：7,721名）

- 全体の73.0%が、日本経済の発展に「女性の活躍推進」が「(大変)重要」と回答  
 ○昨年よりも「(大変)重要」と回答した方は1.9ポイント減少した

■性別の回答

	全体	男性	女性
<b>(大変)重要</b>	<b>73.0%</b>	<b>71.0%</b>	<b>75.1%</b>
大変重要	27.7%	27.0%	28.4%
重要	45.3%	44.0%	46.7%
どちらともいえない	22.2%	23.4%	20.9%
あまり重要ではない	3.7%	4.1%	3.2%
重要ではない	1.1%	1.4%	0.7%

■年代別「(大変)重要」と回答した方の割合

<2016年>

	全年代	~20代	30代	40代	50代	60代~
男性	74.7%	70.0%	70.5%	71.9%	77.3%	81.1%
女性	75.2%	74.9%	73.9%	71.7%	78.0%	79.8%
全体	74.9%					



<2017年>

	全年代	~20代	30代	40代	50代	60代~
男性	71.0%	68.2%	69.4%	72.6%	72.6%	74.2%
女性	75.1%	79.4%	75.9%	74.4%	74.9%	73.8%
全体	73.0%					

(対前年) **▲1.9%**

質問8 2016年は2015年と比較して、職場等で女性の活躍が進んできたと思いますか？

(回答者数：7,758名)

- 2015年に比べ、女性の活躍が「進んできた」と回答した方は57.5%となった  
 ○「進んできた」と回答した方は、女性より男性の方が高い結果となった

■性別の回答

	全体	男性	女性
<b>進んできた</b>	<b>57.5%</b>	<b>59.4%</b>	<b>55.5%</b>
大いに進んできた	8.1%	9.4%	6.7%
少しずつ進んできた	49.4%	50.0%	48.8%
変わっていない	40.9%	38.9%	43.0%
少し鈍化した	1.0%	1.1%	0.8%
鈍化した	0.6%	0.6%	0.6%

質問9 女性が活躍するために必要な要素は？（回答者数：7,823名）

- 昨年と同様、「両立支援など働きやすい職場環境の整備」と回答された方が最も多い  
 ○昨年より大きく増加したのは、「上司・管理職の意識改革（女性活躍への理解・関心等）」と「出産退社後の再就職先支援」となった

■全年代の回答（複数回答可）

順位	項目	2017年	2016年	昨年との差
1位	両立支援など働きやすい職場環境の整備	40.8%	38.0%	+2.8ポイント
2位	女性自身の能力・経験の向上	39.8%	35.8%	+4.0ポイント
3位	保育施設・サービス等の充実	36.2%	31.5%	+4.7ポイント
4位	女性自身の意識変革	35.5%	35.8%	▲0.3ポイント
5位	企業・経営者の意識変革（女性活躍への理解・関心等）	35.0%	27.7%	+7.3ポイント
6位	男性の家事・育児参加	34.1%	27.7%	+6.4ポイント
7位	上司・管理職の意識変革（女性活躍への理解・関心等）	32.1%	17.0%	+15.1ポイント
8位	出産退社後の再就職先支援	25.4%	13.6%	+11.8ポイント
9位	長時間労働を前提としない働き方	23.9%	16.9%	+7.0ポイント
10位	評価・キャリアアップなど人事制度の充実	16.5%	9.0%	+7.5ポイント

<ニッセイ基礎研究所 久我尚子 主任研究員のコメント>

「女性の活躍促進」への意識が引続き強く、また、昨年より進んでいると回答した割合が女性より男性で高いことは意義深いことです。女性が活躍するための就労環境の整備には、管理職の多くを占める男性の意識改革が不可欠です。また、共働き夫婦が増える一方で、未だ日本では家事育児分担が妻に偏る家庭が多くなっています。男性の意識改革が職場だけでなく、家庭でも進むことで、女性の活躍は促進されるでしょう。

なお、管理職の意識改革は、女性が活躍するために必要な要素についての質問でも選択割合が大きく上昇しています。ここ数年、「女性の活躍促進」が進められてきた中で、女性達はキャリア形成や両立支援など自分自身に関わることでなく、周囲の理解や関心の重要性も改めて認識したのかもしれませんが、また、「出産退社後の再就職先支援」の選択割合も大きく上昇しています。この背景には、「女性の活躍促進」の波が広がっていること、さらに、近年の労働市場の活性化により、働いている女性だけでなく、出産で退職し専業主婦となっている女性達の就労意欲も増していることが考えられます。

質問10 [20～50代 独身]将来、結婚したいと思いますか？（回答者数：1,672名）

○40代では、男性の39.2%が「結婚したい」と回答したのに対し、女性は20.8%の回答となり、大きな差が出る結果となった  
 ○女性の約5人に1人は「結婚したくない」と回答しており、男性よりも多い結果となった

■年代別の回答

		全年代	20代	30代	40代	50代
		結婚したい	男性	44.1%	62.5%	49.8%
	女性	36.2%	64.0%	57.3%	20.8%	11.0%
	全体	40.1%	63.2%	53.6%	30.1%	17.5%
結婚したくない		全年代	20代	30代	40代	50代
	男性	13.5%	7.4%	13.8%	12.7%	21.0%
	女性	19.2%	8.0%	11.3%	20.8%	34.8%
	全体	16.4%	7.7%	12.5%	16.7%	28.6%
どちらともいえない		全年代	20代	30代	40代	50代
	全体	43.5%	29.1%	33.9%	53.2%	53.8%

質問11 [20～50代 独身]結婚したい理由は？（回答者数：670名）※質問10で結婚したいと回答した方

質問12 [20～50代 独身]結婚したくない理由は？（回答者数：275名）※質問10で結婚したくないと回答した方

○結婚したい理由で男女間の差がある回答は、「子どもがほしい」と「経済的に安定したい」  
 ○結婚したくない理由の上位は、「一人であるのが好き・気楽」となった  
 男女間で差がある回答は、「経済的な不安がある」という回答が最も大きく、次いで、「結婚という形に拘らない・興味がない」となった

■結婚したい理由は？（複数回答可）

項目	全体	男性	女性
家庭を持ちたい	68.2%	72.1%	63.7%
子どもがほしい	44.9%	40.1%	50.5%
老後に一人は不安	34.6%	30.1%	39.9%
精神的な支えがほしい	34.0%	33.1%	35.0%
独身は寂しい	29.1%	30.1%	28.0%
経済的に安定したい	17.6%	10.0%	26.4%
家事や育児をしたい	7.9%	4.5%	11.9%

■結婚したくない理由は？（複数回答可）

項目	全体	男性	女性
一人であるのが好き・気楽	62.5%	60.9%	63.6%
結婚という形に拘らない・興味がない	36.0%	25.5%	43.0%
結婚自体にプラスのイメージが持てない	31.3%	27.3%	33.9%
適当な相手がいない	20.7%	20.0%	21.2%
経済的な不安がある	16.7%	28.2%	9.1%
打ち込みたい仕事がある	6.5%	6.4%	6.7%
追いかけてみたい夢がある	5.5%	8.2%	3.6%

<ニッセイ基礎研究所 久我尚子 主任研究員のコメント>

40代の独身男女では結婚意欲に大きな差がありますが、女性は出産適齢期に対する意識が強い一方で、男性では意識が弱いことがあるのでしょうか。

また、結婚したい理由で「経済的に安定したい」は女性で多い一方、結婚したくない理由で「経済的な不安がある」は男性で多くなっており、男性の方が結婚生活における経済的な責任を強く感じている様子がうかがえます。一方、女性で「経済的な不安がある」が少ないことは、最近は共働きを前提とする女性も多いと考えられ、男性は必要以上に負担を感じているのかもしれませんが、また、「結婚という形に拘らない・興味がない」は女性で多く、女性の方が結婚に対して新しい価値観を持ち始めているのかもしれませんが。

以上